

2006年7月1日

# 印旛普及だより

第7号

〒285-0026 佐倉市鐺木仲田町8-1 TEL:043-483-1130 FAX:043-485-9502  
ホームページアドレス <http://www.agri.pref.chiba.lg.jp/apcenter/inba/>  
発行：印旛農林振興センター振興普及部改良普及課・印旛地域農林業振興普及協議会

女性パワーで新しい風を！

さつまいも「大栄愛娘」  
まほろずめ

成田市大栄地区を中心に、平成十三年に結成されたJAかとり香取西部園芸部甘しよ育成研究会（会員数75名）では堆肥による土づくりなど、協定に基づいた栽培を実践し、高系14号による「大栄愛娘」のブランド化に取り組んでいます。十七年産は約28万箱が販売されました。



また、十八年二月には、「大栄愛娘」を原料に醸造された焼酎「みずひき愛娘」が誕生しました。

◆ 「愛ちゃん応援団」とは・・・

同研究会では、消費者アンケートや量販店視察によって、「大栄愛娘」の知名度が低いこと、



定番商品になっていないことを認識しました。

そこで、消費者への情報伝達をねらいに、平成十六年産の販売時から女性を中心とした生産者による販促活動を開始しました。初めて消費者と直に接し、食べ方の提案など販促活動の必要性を痛感しました。さらに、十七年産の販促に向けては、「愛ちゃん応援団」として正式に組織を立ち上げ、さつまいもの豆知識、オリジナルレシピの開発、接客方法等の研修会で準備を進め、県内外の量販店で、延べ22

回の販促活動を実施しました。

◆ 産地と「大栄愛娘」を育む

生産活動に加え、販促に参加した女性達の努力は、継続的に扱われる店舗の獲得へと結びついています。また、店舗で収集した情報や女性ならではのアイデアは研究会で活かされ、産地全体の活性化につながっています。女性達も、新たな気持ちで生産活動に参画している様です。成田市への合併を契機に、今後は地元で成田市近郊での知名度アップも目指して行きます。

（引地睦子）



オリジナルレシピ  
「いもっちだんご」

トマト黄化葉巻病を媒介する「タバココナジラミ」が増えています

昨年から、千葉県内各地でタバココナジラミ（シルバリーフコナジラミはタバココナジラミの一種）の発生が確認されています。

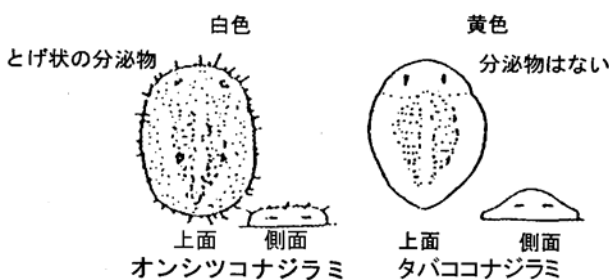
タバココナジラミは、多発生するとトマト果実の着色不良を起こします。また、オンシツコナジラミに比べて一部の殺虫剤が効きにくいうえに、「トマト黄化葉巻病」を媒介するため、注意が必要です。

黄化葉巻病に感染したトマトは、正常に育たず、着果や果実肥大が悪くなります。また、発病後の治療手段がないこと、感染拡大が早いことから、トマト生産に大きな打撃を与えます。黄化葉巻病防除のためにも、圃場のコナジラミの種類を確認し、防除する必要があります。

◆ルーペや虫眼鏡を利用して確認しましょう。



成虫(上:オンシツ 下:タバコ)タバココナジラミの方が、小さく細長い。翅の間から黄色い腹部が見える(写真:千葉県農業総合研究センター)



蛹(原図:後藤純)タバココナジラミは黄色く紡錘形をしている。オンシツコナジラミは白く楕円形で、とげのような分泌物が目立つ

◆育苗期と生育初期が防除のポイントです。

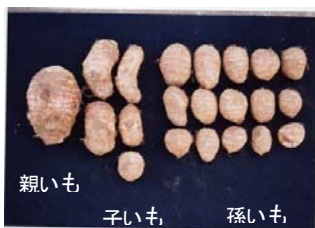
- ①黄色粘着板で発生状況を把握し、初期防除に努めます。
- ②雑草や野良トマトがコナジラミの生息場所なので、ハウス内と周辺の除草を徹底します。
- ③前作物やトマトの栽培終了後に、根を抜き、施設を密閉してコナジラミを蒸し殺します。
- ④厳重な防除が必要な育苗ハウスは、0.4 mm ネットを張ります。
- ⑤栽培ハウスに1 mm 以下のネットを張ります。タバココナジラミの侵入阻止には0.4 mm と言われますが、遮光材等の高温対策が今後の検討課題です。
- ⑥定植時にスタークル粒剤を植え穴処理します。タバココナジラミに比較的效果が高い薬剤はスタークル顆粒水和剤、ベストガード水溶性、サンマイトフロアブル等。薬剤使用の際はラベルの使用基準を確認してください。(中臺敬子)

さといも新品種「ちば丸」登場

千葉県では、さといもの新品種「ちば丸」を育成しました。

「ちば丸」は中晩生品種で、慣行品種「土垂」に比べ、形状が丸くて大きいことから、選別や箱詰め作業の機械化に適するため、省力化が図れます。また、他の丸系の品種に比べて芽つぶれ症、ひび割れの発生が少なく、粘りはやや少なく、肉質が軟らかいので、煮物・加工品に適します。

現在県では、平成二十年からの一般栽培に向けて種芋増殖を行っているところです。種芋は、県内の種苗店等で販売される予定です。(安藤利夫)



「ちば丸」のイモの形状

農業の新たな仲間！  
「印旛農業経営体育成セミナー」を開催しました

改良普及課では、新規就農青年の皆さんを対象に、同世代のネットワークづくりと、農業の基礎的、専門的な知識・技術を段階的に身に付け、資質向上を図ることを目的に「農業経営体育成セミナー」を開催しています。

基本、専門、総合の3年間のカリキュラムで月一回程度の研修を行います。1年目の基本コースでは、農業経営に必要な基礎的知識の習得を行います。2・3年目の専門・総合コースは、セミナー生が目指す経営類型や品目について、より専門的な知識・技術の習得と、各自が設定したテーマのプロジェクト学習等の実践的な研修を行います。

今年の上講者は、専門研修が

27名、総合研修が17名に、新たな仲間として基本研修生30名を加え、総勢74名です

今年の開講式は、五月二十三日（火）、印旛合同庁舎を会場に開催しました。来賓として印旛郡市指導農業士会の笹原会長をはじめ、市町村等からも多数の出席を得て、激励のエールをいただきました。

今後も新規就農者の更なる飛躍のために農林振興センター職員が一丸となって支援します。

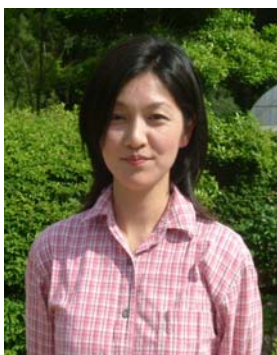
(伊藤静雄)



今年のセミナー生の顔ぶれ

真心を込めてお届けする「味」と「アイデア」

印旛地域は直売所も数多くあり、新鮮な野菜と並んでお弁当、漬物、もち類、菓子などの加工品は人気商品となっています。今回は、印西市草深で御両親・旦那さんと共に野菜の苗生産に取り組みむ小山美千代さんを紹介いたします。



小山さんは、就農する前に浅草に住んでいた縁から週に一回行商をしていましたが、現在ではすべて宅配に切り替え、週に一回「畑からの直送便」として都内のお客様に新鮮な野菜を届けています。また、インターネットによる販売も始め、着実に販売が伸びているそうです。

平成十五年に食品加工の営業

許可を取得し、野菜と一緒に季節の香りがする煮物やジャムなどの加工品も届けています。

“にんじんだけとろっとジャム”など、加工品のネーミングや手書きのチラシ、ラベルなどには美千代さんのセンスの良さが光り、手作りの暖かさが伝わってきます。また、身近な花材を利用した生け花やアレンジの講習会も開いており、PTA等で知り合ったお母さん達にも大人気とのこと。

料理が得意なお母さんとアイデアいっぱいのお母さんのコンビで、直売所での販売にもチャレンジしようと考えています。これからは都会の人が癒されるよう、子供達には食べることに大切さを伝えていきたいなど夢が膨らんでいます。

(郡司喜代子)



白井市で自然薯の作付けがスタートしました！

白井市では栽培器を利用し、ほ場で栽培を行う自然薯の産地化を進めています。

#### ◆ 自然薯とは

自然薯はその名が示すとおり山野に広く自生し、滋養・強壯の健康食品として古くから珍重されてきました。白井市の自然薯は、北茨城自然薯研究会が開発したウィルスフリーの種芋を使用し、水稲の畦シートを利用して畑で栽培できるようにしたものです。最近では健康食品ブームや直売ブームにのって栽培が広がる傾向にあります。豊富な栄養素に加え、アミラーゼなどの各種酵素も多く含んでおり、高い栄養吸収効率が期待できます。

#### ◆ 自然薯研究会の設立

白井市では本格的に栽培に取り組むために、自然薯研究会を

設立しました。土壌診断に基づく施肥設計や、講習会を通じての技術統一等栽培に関すること  
は勿論、販売促進活動も展開していきたくと考えています。

#### ◆ 今後は…

今作の芋は近隣スーパー、さらには来作は平成十九年にオープン予定のJA西印旛直売所（白井店）でも販売の予定です。

自然薯が白井の独自ブランドとして定着するよう、改良普及課としても積極的に支援していきます。  
(柴崎直美)



自然薯のお吸い物。食べ方の提案等、販売促進活動も展開していきます。

スマイルやちまた オープン

「遊んで、食べて、旬をあなたに！」をキャッチフレーズに、「スマイル八街の森」が八街市八街ろ地先に、五月二十七日（土）にオープンしました。

里山での農林業体験等を通して、人々が笑顔（スマイル）で過ごせる空間を提供することが設立の目的で、企画は生活協同組合「ちばコープ」、中核施設である農産物直売所の運営は地元農業者で作る「（有）スマイルやちまた」が当たります。直売は、農産物の多様な販売チャネルの一つとして定着してきましたが、体験・交流も加えた新しいタイプの直売所として注目されています。



(佐瀬善浩)

「園芸王国ちば」強化支援事業の紹介

「園芸王国ちば」を不動のものにするため、本年度から実施する県単独事業を紹介します。

#### ①「推進事業」

「産地戦略」の策定等を行います。

#### ②「ハウス栽培緊急促進事業」

パイプハウス等の施設導入を対象とし、事業主体が認定農業者か認定就農者となるのが特徴で、補助率は4分の1以内です。

#### ③「がんばる産地支援事業」

ハウスや施設・機械等を対象とし、事業主体が3戸以上の営農組織等で、補助率は3分の1以内です。

②、③の事業とも「産地戦略」の中に事業主体を位置付けること等の要件があるので、詳しくは市町村や当センター担当者にお問い合わせください。

(地域振興課 井久保徹)